

# 福島県 林業

No. 575

題字 福島県知事 佐藤雄平



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.



7

2012

かんしゅう ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 下刈り作業



# 新年度がスタートして

福島県木材協同組合連合会会長  
**朝 田 宗 弘**

福島県木材協同組合連合会会長の朝田宗弘です。

五月末の通常総会により、再度会長に選出されました。これからも木材業界の発展のため微力を尽くす所存です。

さて、昨年三月十一日の東日本大震災では地震・津波はもとより、その後の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により、本県の林業、木材産業は未曾有の被害を被ることとなりました。

まず七月には稲わらの放射能汚染が明らかになり、堆肥や畜産敷料として同じ様な用途であった樹皮(バーク)の流通がストップしてしまいました。さらに十二月には二本松の建物に使用された浪江町の碎石問題により、同じ建材として製材品にも疑いの目が向けられてしまいました。

これらの経緯から福島県の「もの」に対する県外からの風評被害や拒否反応は徐々に、そして確実に広がっているのが感じられます。

平成二四年度がスタートし、本来であれば公共建築物等、木材利用促進法に基づく学校や福祉施設の木造化が進展し、さらに再生可能エネルギー全量買取制度の導入により、間伐材や林地残材の活用が期待できたはずですが、現状は、工場内に樹皮が滞留し、いつかは工場がストップしてしまうのではないかと、今後木材内部への放射能汚染は大丈夫なのかなど、木材業界は希望ではなく、不安がいつぱいあります。さらに事故の原因究明も政府の積極的な動きが見られず、東京電力の最終報告書では「原因は想定外の津波」と場当たり的で責任回避に終始しています。この様な中で木材業界としては、製材品の安全基準づくりや木材の除染技術の研究など、自ら課題の解決に向け、前向きに取り組んでいこうとしております。

業界が生き残っていくには、停まっているわけにはいきません。ぜひ林業、木材業界一丸となってこの難局を乗り越えていこうではありませんか。

## 《も く じ》

とびら

新年度がスタートして

福島県木材協同組合連合会会長 朝 田 宗 弘 … 1

東日本大震災からの森林土木施設の復旧状況について … 2～4

森林研究センターだより … 5～6

林道を訪ねて3,000kmシリーズ (第9回)

「青坂柴倉線との出会い」 … 7

普及指導員通信 … 8

木材市況・ふくしま東西南北 … 9

緑の募金コーナー … 10

公社だより … 11

森連だより … 12

はなしのひろば … 13

# 東日本大震災からの 森林土木施設の復旧状況について

— 森林整備課・森林保全課 —

平成二三年三月十一日に発生した地震と津波により、本県の森林土木施設や林地に大きな被害が発生しました。  
〔林業福島〕 No.五六〇号、No.五六一号参照

東日本大震災から一年四カ月が経過しましたが、被災箇所は、災害査定を受けて災害復旧事業が行われるなど、各地で復旧・復興に向けた取り組みが行われているので報告します。

## 一、林道施設の復旧状況

### ① 林道施設の被害状況と査定状況

林道施設の被害は、平成二四年六月十五日現在、三三六路線九六一箇所、約十三億二千万円となっています。災害復旧事業のための災害査定は、林野庁査定官と東北財務局立会官により平成二三年六月から五回行われ、平成二四年一

月三十一日現在で一三七箇所査定額は約七億二千万円となりました。

### ② 林道施設の災害復旧事業の実施状況

林道を管理している市町村では、災害査定が決定した箇所から順次復旧事業に着手し、平成二三年度は査定箇所の約七七割にあたる一〇六箇所が発注され、そのうち七五箇所で年度内に復旧事業が完了しました。

平成二四年度は、六月末まで二七箇所が発注されました。その結果、これまでに全体で査定箇所の九七割にあたる一三三箇所、災害復旧事業に着手し、そのうち五七割にあたる七八件で復旧工事が完了しています。

また、未発注の四箇所についても準備が整い次第発注され、災害復旧が図られる予定です。（表一）

### ③ 警戒区域内の林道について

警戒区域内には九三路線の林道がありますが、立ち入り制限などの影響で被害調査を行うことができず被災状況は不明でした。平成二三年十一月より調査が可能となったことから、県では林道を管理する市町村と連携し被害状況の調査

表1 林道施設災害復旧事業の実施状況

平成24年6月30日現在

事務所名	査定箇所数 ①	発注箇所数 ②	発注率 (%) ②÷①	完了箇所数 ③	完了率 (%) ③÷①	未発注箇所数
県北	42	42	100	32	76	0
県中	38	35	92	15	40	3
県南	23	23	100	23	100	0
会津	15	14	93	0	0	1
相双	11	11	100	1	9	0
いわき	8	8	100	7	88	0
合計	137	133	97	78	57	4

## ●林道花塚線（川俣町）の復旧状況



被災状況（舗装路面の亀裂、崩壊）



復旧状況

## ●林道楽翁溪線（西郷村）の復旧状況



被災状況（法面崩落）



復旧状況

### 二、林地被害の復旧状況

を行うこととしました。平成三年度内には、積雪等で調査困難な路線を除く六四路線で調査を行い、さらに融雪後に再開した調査により、平成二四年六月中旬までに全路線の被害調査が終了しました。

その結果、警戒区域内では約六〇％にあたる五四路線で法面崩落や路面の亀裂などの被害が確認されました。今後は、警戒区域の見直しにあわせ被害状況の詳細調査、早期復旧の実施等について市町村を支援してまいります。

#### ①被害状況

東日本大震災による治山関係の被害状況は林地被害、治山施設被害を併せて一四三箇所で約三九三億一千万円となっております。

地震による山腹崩壊により、白河市のザラ久保地区やいわき市の綱木地区では尊い人命が失われました。

#### ②復旧状況

○治山施設災害復旧状況  
被災した治山施設に関する査

## ●ザラ久保（白河市）の復旧状況 —



被災状況（山腹崩壊）



復旧状況

定は四回実施され、査定金額は九地区で約四五億七千万円となっております。現在二地区で復旧工事を実施しており、二地区で発注準備を進めております。また四地区で復旧工事に向けた国協議を実施しているところです。

○災害関連緊急治山事業  
国道など重要な保全対象に直接被害を及ぼす林地崩壊箇所を緊急に行う復旧整備事業であり、八地区で約十一億円の決定を受けています。一箇所、白河市のザラ久保地区が完成し、七箇所で現在工事を実施中です。

○林地崩壊防止事業  
激甚災害に指定された災害において、人家等の保全対象に直接被害を及ぼす箇所でも町村が復旧整備を行う事業であり、八地区で約一億四千万円の決定となっております。三地区で復旧工事が完了し、五地区で復旧工事を実施中です。

○治山事業  
その他の林地崩壊箇所のうち、緊急性が高いものについては、国の補助事業等を活用し、早期の復旧を図るべく測量設計を行い、順次、復旧工事の実施に努めているところです。

### ③今後の展開

○警戒区域等内  
区域の見直しが行われた南相馬市小高区の避難解除準備区域については、津波で流失した海岸防災林の復旧に向けて取り組むこととしています。

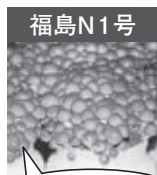
また、今後、区域の見直しも、想定される楢葉町についても、津波で被災した消波ブロックの復旧に取り組む準備を行うこととしています。

○海岸防災林  
津波で大きく被害を受け、ほとんどの松林が流失した海岸防災林については、国における検討会の報告を踏まえ、津波減衰効果が最大限に発揮できるように林帯幅が拡大出来るようにについては概ね二〇〇㍉程度で整備し、また、マツ等が健全に育つために地下水位から約三㍉程度の盛土を行い、植生基盤を確保することとしています。

計画が概ね決まった、相馬市、南相馬市鹿島区、南相馬市原町区については、その整備のために市町村との調整を行っているところだ。

## きのこで地域を元気に (社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

### ●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

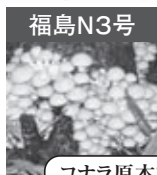


安定多収量



大型・滑り少

### ●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富



### ○その他各種種菌

- 菌床
  - ・シイタケ
  - ・ハタケシメジ
  - ・ムラサキシメジ等

- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

林業研究センターだより

## ナツハゼ研究の 現状と可能性



林産資源部

専門研究員 **長谷川 孝則**

### 1 研究の目的と背景

ナツハゼ（ツツジ科スノキ属 *Vaccinium oldhamii*）は、全国各地に分布する落葉生の低木で、福島県内では中通りの阿武隈山系から浜通りにも多く自生しています。秋に熟す房状黒紫色の実がジャムやジュースなどに利用することができますが、仲間であるブルーベリーに比べて酸味が強く、青臭さや渋味といった独特の風味を持っています。地元では古くから親しまれているナツハゼでしたが、注目を集めるようになったのは最近です。「ナツハゼに高い健康成分 ハイテクプラザ会津若松技術支援センターが発見 アントシアニン色素が他のベリー類に比べて約六倍含まれている」

（福島民報 平成十九年十月十八日）。この報道がきっかけとなり、販売されている商品（加工品等）・苗木の入手方法等についての問い合わせが多数寄せられるようになりました。栽培を行ってみたいという人たちも増えてきました。

福島県内に広く自生しているナツハゼですが、福島県以外の地域において栽培・加工品の開発などが積極的に行われているという話は聞きません。加えて食品機能性も明らかになってきたナツハゼ。福島県の新たな特産品となりうる可能性は充分にあるといえるでしょう。

### 2 しかし問題がある

このように食品機能性の面から注

目を集めるようになってきたナツハゼですが、増殖など栽培面での研究は殆どされていないのが実状です。現時点では、栽培品種というものはなく、果樹一般の増殖方法として用いられている技術（さし木等）も確立されていません。なぜでしょう？

ナツハゼは増殖が難しいのです。栽培品種というものは、親木の形質を再現する必要があるため栄養繁殖（クローン増殖）により増やします。一般的には、さし木苗と考えてもらうと良いでしょう。しかし、ナツハゼは「難発根生のためさし木成功率が極めて低く、その有効な方法は見つかっていないのが現状」といわれています。このため、さし木苗は作られていません。苗木をつくるには、果実から種をとって育てる実生繁殖、もしくは山から掘り取ってくる山取りの方法が用いられます。

実生や山取りという方法では、親の形質を引き継ぐことはできませんから、形質が固定された優良な品種を作ることはできません。優良品種がないということは、形質・収量・風味の良い品種がない、ということの意味するわけです。形質の良否がわからなくては商品になるのかどうかかわらない、収量の多寡がわからなくては経営が成り立つかどうかかわらない、風味の善し悪しがわからなくては売れるか

どうかかわらない、こととなります。

### 3 解決すべき課題

優良品種の選抜と、選抜した品種の形質を固定して増殖させる技術が必要です。このため、「選抜品種固定のための増殖技術の開発」と「優良品種の選抜」以下の二点に絞って、現在試験を行っています。実際にどうということかと申しますと、前者についてはクローン増殖技術（さし木主体）の開発、後者については県内生の野生株等から優良株の選抜ということになります。このふたつはクルマの両輪なので、どちらが欠けてもいけません。また、最終目的は現場での展開ということになりますから「現場で使える技術・現場にやさしい技術の開発」という基本姿勢を忘れずに取り組んでいきます。

### 4 現状はどうなっているのか？

ナツハゼは難発根性とされていますが、緑枝さし及び休眠枝さしの両方において発根が可能であることを確認することができました。以下に、最新の試験結果（平成二三年度試験）を示します。

・緑枝さし（表一）

平均発根率 六七・九%

平均得苗率 四二・一%

・休眠枝ざし（表1-2）

平均発根率 十六・五割  
平均得苗率 十四・八割

緑枝ざしにおいては平均発根率が七割近く、得苗率（発根良好で鉢上げが可能だったものの割合）も四割を超えるという良好な結果を得ることができました。また、より困難と思われる休眠枝ざしにおいても発根の確認及び得苗が可能でした。

優良品種の選抜につきましては、現在までに候補木として十八株の選抜を行いました。詳細については割愛させていただきますが、加工需要を念頭に置いて風味のバランス及び食感に優れた品種を選抜することとしています。

5 今後は？

難発根性といわれているナツハゼですが、緑枝ざしの試験結果を見ると、実用的なざし木苗の生産は不可能ではないようです。採穂する穂の状態が発根の良否を左右していることもわかりました。今後は、休眠枝ざしも含めて、より高い発根率を可能とする条件について探っていきたいと思えます。優良品種の選抜については、選抜した品種の追跡調査を行うとともに、新たな優良株の選抜を継続して実施していきます。長期的には、鉢上げ苗を圃場に定植して結実状況等形質の

再現性・樹体の仕立て方について検討していきたいと考えています。  
ナツハゼ研究の今後について、期待してください。



鉢上げ苗



発根の状況

表-1 平成23年度試験結果（緑枝ざし）

系 統	採穂年月日	挿付年月日	調査本数 a	発根本数 b	植替本数 c	発 根 率 b/a	得 苗 率 c/a
割 石 作 6	H23. 5. 31	H23. 6. 3	28	28	24	100.0%	85.7%
笠 石 1	H23. 6. 6	H23. 6. 9	28	25	19	89.3%	67.9%
いわき優良木	H23. 5. 24	H23. 5. 27	28	23	17	82.1%	60.7%
笠 石 2	H23. 6. 6	H23. 6. 9	28	25	15	89.3%	53.6%
割 石 作 11	H23. 6. 7	H23. 6. 10	28	25	11	89.3%	39.3%
割 石 作 5	H23. 5. 31	H23. 6. 3	28	18	9	64.3%	32.1%
割 石 作 5 ②	H23. 6. 20	H23. 6. 23	28	19	9	67.9%	32.1%
割 石 作 1	H23. 6. 13	H23. 6. 16	28	12	8	42.9%	28.6%
割石作1徒長枝	H23. 6. 27	H23. 6. 30	28	8	6	28.6%	21.4%
割石作2徒長枝	H23. 7. 4	H23. 7. 7	19	7	4	36.8%	21.1%
割 石 作 12	H23. 6. 7	H23. 6. 10	28	13	4	46.4%	14.3%
			299	203	126	67.9%	42.1%

表-2 平成23年度試験結果（休眠枝ざし）

系 統	採穂年月日	挿付年月日	調査本数 a	発根本数 b	植替本数 c	発 根 率 b/a	得 苗 率 c/a
割 石 作 5	H23. 3. 1	H23. 3. 2	59	25	23	42.4%	39.0%
割 石 作 6	H23. 3. 8	H23. 3. 9	43	8	8	18.6%	18.6%
割 石 作 1	H23. 3. 3	H23. 3. 4	31	4	2	12.9%	6.5%
割 石 作 2	H23. 3. 3	H23. 3. 4	46	2	2	4.3%	4.3%
割 石 作 3	H23. 3. 7	H23. 3. 8	64	1	1	1.6%	1.6%
			243	40	36	16.5%	14.8%



## 林道を訪ねて3,000kmシリーズ（第9回）

# 青坂柴倉線との出会い



技術士 中村多伸

路線名	青坂柴倉線	幅員	3.6～6.0m	延長	7,078m
市町村名	耶麻郡西会津町陸合				
開設年度	昭和49年～平成10年	事業名	広域基幹林道開設事業		

### 1. 青坂柴倉線との出会い

- ① 国道49号付近が起点で、数百メートル先に10数軒の青坂集落がある。萬城哲夫さんと恒例の現地調査に出向いた際、青坂集落の区長さんと全住民の方々が投宿した宿に陳情にこられ、一日も早く路面の舗装を実施してほしいという願いを受け、当該林道の計画を始める契機になった。  
当初は、青坂集落まで舗装をすることが目標であったが、豪雪地帯で、降雪時には除雪が出来ないほどの規格構造であり、起点の橋梁の改修も視野に入れて、全面的な改築事業に発展して行った。
- ② この地域も会津リゾート構想に含まれる地域であり、小杉山集落の舗装の計画もあり総合的な見地から、柳津町の柴倉集落と連絡する計画を作り、両町に打診して実現した林道計画であり思い出多いが、現地は当初と大きく変更されてた線形で実施されていた。

### 2. 現地の現状

- ① 柴倉地区の集落は、既設道が高規格の林道が完成されて、生活が継続されているのがとても嬉しかった。
- ② 良く管理された林道で、通行の安全性が確保されている。

### 3. 技術的な課題と現状等



- ① 法面緑化に配合した会津の女王「メドハギ」の成長は良好で、むしろ生育が良すぎて路面を被覆している状態である。
- ② 間伐材や風倒木等の活用は、林道という性格上各技術者が課題として取り組んできたが、写真で示すようなケースでは、風倒木等を活用して製材品として取り入れている。問題は耐久性が課題だが、間伐材丸太の利用ではどうか。現在は腐食もなく良好であるが、側溝まで製材品を利用して一体感を持たせたのは、設計者の拘りがあるのかもしれないが、木材は腐食する性質を持っていることを忘れないでほしいと思います。

### ..ひとり言..

高密路網計画は（いわき市三和町）、現役時代の集大成ですが、全国で9カ所計画され50m/haを達成したのは福島県が最初になります。この計画の実現までには大きなハードルが沢山ありましたが、利用区域30ha以上という概念を取り払うことから始めたのです。林野庁は本当に抵抗しましたが、所詮林野庁が内規で作っているものですから、理論武装すれば、突破できるのです。現場経験者は現場の声を発することが大切なのです。3,000haの広大な面積に高密路網を配置出来たのは、当時のいわき市の林務課長や林道係長の力が大きいと思いますが、地元の皆さんの協力により実現したことが忘れられません。まずは夢を描くことから始めてみませんか。



# 南会津地域における原木シイタケ栽培 (施設) への取り組み

■南会津農林事務所  
林業普及指導員 益子利江

県では、原子力発電所事故によって放射能汚染されたきのこ生産用資材が使用されないよう、平成23年11月より、きのこ生産用資材の検査を実施しています。

その結果、県内におけるきのこ生産用資材は、放射性物質により汚染された資材が多く、きのこ生産者にとっては、安全な資材を入手することが困難な状況にあります。

そのような中で、新たに安全な地元材を利用して原木シイタケ栽培に取り組む決意を固めた農業法人(株)しもごう農園についてご紹介します。

主に公共事業等を中心に事業を展開している(株)渡部工務所が、平成23年12月16日に農業法人(株)しもごう農園として登録し、現在、原木シイタケ・米・そばの生産販売を行っています。

南会津地域は、誰もがご存じのとおり県内でも屈指の豪雪地帯であることから、冬期間における作業員の就労の場を確保するのに苦慮していました。そこで、冬期間でも収入が得られる就労の場を模索した結果、南会津地域では初めて、施設を利用した周年の原木シイタケ栽培に取り組むこととしました。

原木シイタケ栽培(施設)を周年で行うために、なんと言っても欠かせないのが雪対策です。そのために、しもごう農園では、使用しなくなった土木作業用資材の保管倉庫を改装し、内装には工事現場などで使用していたパイプを使用するなど、徹底したコスト削減を図りつつ、雪に強い施設の整備を行ってきました。

また、放射能対策としては、使用する原木の検査、発生したきのこのモニタリング検査と自主検査により、徹底した管理を行ってきました。

そのような努力を積み重ねながら、昨年秋より初めて出荷できるようになり、道の駅や町の駅等へ238kgを出荷しました。

2年目となる今年は、計画目標である有効ほだ木10,000本に向け、安全な原木の入手と計画的な植菌を行いつつ、新たな商品開発に取り組んでいるところです。

最後に、原発事故が収束し、放射性物質検査を実施しなくても、誰もが安心して地元農林水産物を食べられ、南会津地域のきのこは、「美味しい」と笑顔で言ってもらえる日が再び訪れることを願って普及活動を続けていきたいと思えます。



倉庫を利用した発生舎



舎内(写真左より阿部さん・渡部社長・湯田さん)

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(4月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~8)	0	(0~0)	0	9(9~9)	0	8(8~9)	0
		10~13		並	スギ	10(9~11)	0	9(7~10)	0	11(11~11)	1	10(7~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	11(10~13)	0	10(10~11)	0	11(11~11)	1	11(10~13)	0
				並	ヒノキ	18(15~23)	0	(0~0)	0	16(16~16)	2	17(15~23)	1
		6.00	並	スギ	19(16~25)	1	(0~0)	0	15(15~15)	0	17(15~25)	0	
			並	ヒノキ	24(24~24)	0	(0~0)	0	26(26~26)	1	25(24~26)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	12(11~12)	0	12(12~12)	0	11(10~12)	0	12(10~12)	0	
		4.00	並	スギ	10(8~13)	0	13(13~13)	0	9(9~9)	0	10(8~13)	0	
		1.80	並	アカマツ	6(5~7)	△1	9(9~9)	0	8(7~9)	△1	7(5~9)	△1	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	22(22~22)	0	(0~0)	0	23(23~23)	0	23(22~23)	0
並				米マツ	25(24~26)	0	26(26~26)	0	23(22~24)	△1	24(22~26)	△1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	22(22~22)	0	22(22~22)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	22(22~22)	0	22(22~22)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(9~9)	0	(0~0)	0	(9~9)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	

三月の原木市場への入荷状況は、前月並み(前年比三七割増)の二四、七〇一立方メートルとなっている。  
 販売量についても、前月比五割増(前年比四八割増)の二五、九一〇立方メートルとなっている。  
 四月の価格については、下げ止まりの傾向が見られ、弱保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	-
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	8(7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	9(8~10)	△2

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。



植樹の様子

県中農林事務所宮川森林林業部長)と古殿町議会議長の来賓祝辞の後、「広げよう大地うるおす 植樹の輪」の緑化運動テーマのもと、イロハモミジの記念植樹が行われ、最後には参加者全員により約三〇〇本のスギ苗木が植樹され、植樹祭を終えました。

平成二四年五月二五日に石川地方植樹祭(国土緑化石川地方推進委員会、古殿町緑化推進委員会、福島森林管理署白河支署の共催)が古殿町の犬伏国有林内において開催されました。昨年は東日本大震災のため中止となりましたが、今年は復興元年の記念行事として、関係者等約一二

〇人が参加し、盛大に行われました。しかし、放射能を懸念する声に配慮し、緑の少年団員の出席が見合わされたことは若干残念ではありましたが。  
 当日は、国土緑化石川地方推進委員会副委員長の玉川村長の開会のことばに続き同委員長の石川町長及び福島森林管理署白河支署長の主催者あいさつがあり、引き続き、石川町中田造林組合の鈴木組合長ほか四名の緑化功労者に表彰状が贈られました。  
 また、福島県知事(代理)・

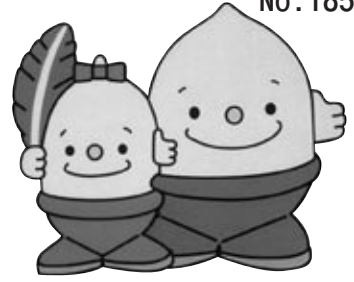


### 石川地方植樹祭が開催されました

県中農林事務所森林林業部 課長 竹原 太賀司

### 緑の募金コーナー

No.185



**ふくしま緑の百景  
歩こう会  
一、五〇〇人が参加！**

福島民報社、郡山市、福島県森林・林業・緑化協会主催の「第二四回ふくしま緑の百景 歩こう会 in 郡山」は六月十七日（日）郡山市東部森林公園から大安場史跡公園までの十一キロのコースで県内外から約一、五〇〇人が参加して盛大に開催されました。

当日は早朝から滝のような雨が降っていましたが、開会式直前には見事に晴天が広がり、新緑あふれる自然と史跡を満喫したウォーキングとなりました。

参加者全員に花の種子のプレゼントや豚汁のサービス、さらに抽選でペア宿泊券や地元の名産品、緑化苗

木がプレゼントされるなど大いに楽しんだ一日となりました。

### 「森の教室」を開催！

国土緑化推進機構と福島県森林・林業・緑化協会は、ファミリーマーの協賛を得て、郡山市の富岡町仮設幼稚園といわき市の幼稚園二箇所

で「森の教室」を開催しました。「森の教室」は被災地支援の一環として、園児たちに緑の大切さを学びながら楽しんでもらおうと開催したもので、各会場ともたくさんのお見たちが参加し、「どんぐりくん」と「エコロン」のキャラクター



「どんぐりくん」「エコロン」を夢中で見ている園児たち



NPO 法人いわきの森に親しむ会 松崎さん指導のもと、苗木の植樹を体験

ショーや県内産木材を使用した積み木の贈呈、どんぐりの苗木の植樹など、盛りだくさんの内容のイベントを楽しみながら緑を大切にしていることを誓い合いました。

### 第二七回ふくしま緑の 写真コンクール作品 募集中!!

福島民報社と福島県森林・林業・緑化協会は県民が選んだ「緑の百景」や身近にある豊かな緑を題材とした作品を募集しています。（募集必着）平成二四年十月二六日（金）



第26回ふくしま緑の写真コンクール特選作品「深緑の会津」

第二七回の募集に合わせて、昨年の緑の写真コンクールの優秀作品を左記に展示しておりますので、是非ご覧いただきたいと思います。

期間 平成二四年七月三〇日（月）  
～八月三日（金）  
場所 コラッセふくしま 一階アトリウム

### ●お問い合わせ

福島民報社事務局  
TEL〇二四一五三二一四一七一  
福島県森林・林業・緑化協会  
（福島県緑化推進委員会）  
TEL〇二四一五二四一四八〇

公社だより

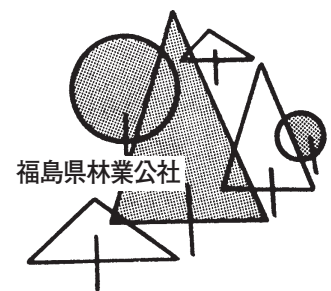
## 第45回通常総会 開催される



村田理事長あいさつ

去る五月二十五日(金)、福島市「ウエディング エルティ」において、福島県林業公社の第四五回通常総会が開催されました。

まず、本年四月一日付けで、理事



長に就任した村田文雄理事長より、「森林の有する公益的機能の増進という目的達成のため、皆様と力を合わせ今後も引き続き、健全な森林の整備と経営改善に全力で取り組むとともに、公益法人への移行に向けた準備も着実に進めてまいりたいと考えておりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。」とあいさつがありました。

次に、来賓を代表して、日本政策金融公庫仙台支店農林水産事業統括の義家光久様からごあいさつをいただき、その後、昭和村の馬場孝允村長を議長に選出して議事に入り、平成二三年度の事業報告・決算及び平成二四年度の事業計画・収支予算等七議案について原案どおり承認されました。

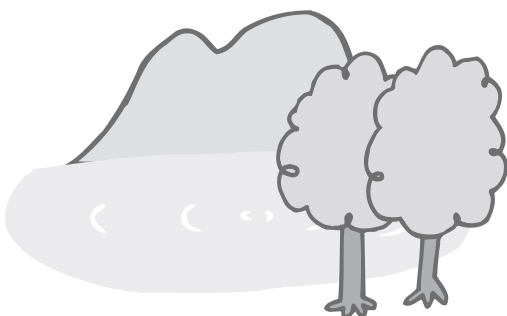
平成二三年度は、木材需要の低迷や木材価格の下落などに加え、昨年三月十一日の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故及び七月の新潟・福島豪雨により、一部の地域で施業が実施できないという状況の中、一定量の事業を行うとともに、経費削減に努めたこと等により、次期繰越収支差は実質的に約二、〇七〇万円となりました。

平成二四年度の公社事業は、約二億三、〇〇〇万円の分収造林事業を実施することとし、そのうち保育事業については、間伐を中心に六八五畝の森林を整備する他、八、五〇〇畝の作業路開設・補修を実施することとしております。

長し、平成二五年度まで取り組むことが了承されました。

また、役員について、猪苗代町長「前後公」氏が選任され、県議会議員「小松山善継」氏、同「円谷健市」氏の二名が理事の承認を受けたほか、公益社団法人移行に向けたスケジュールが報告されました。

当公社としましては、「県土や自然環境の保全、山村地域の振興及び住民の福祉の向上に寄与する」という公社の役割を改めて認識し、造林地の適正な管理に努めるとともに、経営改革に全力で取り組んで参りますので、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。





あいさつする国井会長

減に懸命な努力の結果、剰余金を計上することができ、満場一致で議案が承認されました。

本会の第六一回通常総会は、去る五月二日に福島市「杉妻会館」において開催され、平成二三年度事業報告、平成二四年度事業計画の承認など十議案を上程し承認されました。また、系統利用優良組合・永年勤続役職員の表彰および退任役員への感謝状の贈呈が行われました。

二三年度決算では、三月十一日に発生した東日本大震災、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故、また七月の新潟・福島豪雨災害と様々な課題を抱えつつも、事業量の確保を図るとともに、経費の節

# 森連だより

## 第61回通常総会 開催される



二四年度事業計画については、二三年度に決定した「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」に掲げた①国産材の利用拡大と流通革命、②提案型集約化施策の重点実施と持続可能な低コスト林業の確立、③組合員、国民の信頼を得る組織・経営の確立を取り組んでいくこととしていますが、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により森林・林業情勢に原発事故の影響が大きくなること危惧されており、

木材への安心・安全を消費者へ提供できるような体制・基盤づくりの強化をはかり、役員一丸となつて、経営財務収支の改善に努めることとした事業計画が承認されました。

各部門の事業計画は次のとおりです。

◎指導部門

①提案型集約化施策を最優先とする系統運動「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」の推進

- ② 森林組合連合会経営改善計画の実行
  - ③ 森林組合広域合併の推進
  - ④ 森林組合事業拡大の支援推進
  - ⑤ 森林環境税を財源とする森林づくりの推進
  - ⑥ 森林整備担い手対策基金事業の推進
  - ⑦ 指導監査の実施と事後指導の実施
  - ⑧ 緑の雇用現場技能者育成対策事業の取りまとめ、指導
  - ⑨ 高性能林業機械の貸付
  - ⑩ 原発事故関連連損害賠償請求の取りまとめ
- ◎販売部門
- ① いわき木材流通センター、会津共販取扱量の増大および「会津共販所検討プロジェクトチーム」会議の開催
  - ② 間伐材の有効利用と販売体制の強化
  - ③ 合板材等の直送化の推進
  - ④ 森林組合木製品、林産物の販売拡大
- ◎森林整備部門
- ① 森林調査、治山、林業専用道等の業務の拡大
  - ② 森林調査・森林コンサル等広範な事業の確保
  - ③ 森林境界明確化促進事業の推進
  - ④ 職員の資格取得と森林組合支援体制づくり
  - ⑤ 森林国営保険の加入促進と損害調査の迅速化
  - ⑥ 各種保険の加入促進
  - ⑦ 異業種との連携強化
- ◆購買
- ① 優良苗木の確保
  - ② 林業用資材、機械、森林病虫害防除資材の取扱拡大及びデジタルコンパス、森林施業関係ソフトの販売
  - ③ 生活関連物資の取扱拡大
  - ④ 高性能林業機械の販売リース事業の提案
- ◆金融
- ① 森林組合事業資金の確保と貸付
  - ② 制度資金の普及と貸付業務の迅速化

総会においての表彰者は次のとおりです。

【表彰者名簿】	
○平成23年度系統利用優良組合	
販売部門	ふくしま中央森林組合
購買部門	福島県北森林組合
森林保険部門	東白川郡森林組合
○感謝状贈呈	
加藤 洋一	
川原田 又一郎	
○功労者表彰	
永年勤続役員 (勤続12年以上)	
斎藤 寅士	(福島県北森林組合)
原 光春	(会津若松地方森林組合)
矢沢 純也	(只見町森林組合)
永年勤続職員 (勤続30年以上)	
佐藤 博	(福島県北森林組合)
鈴木 秀明	(館岩村森林組合)
鈴木 元長	(いわき市森林組合)
河原 修一	(双葉地方森林組合)
飯島 一夫	(双葉地方森林組合)
植高 睦子	(相馬地方森林組合)
森 正弘	(相馬地方森林組合)
永年勤続職員 (勤続20年以上)	
青木 博之	(ふくしま中央森林組合)
加藤 久生	(ふくしま中央森林組合)
浦山 忠夫	(田村森林組合)
五十嵐 令子	(会津若松地方森林組合)
須佐 宏道	(会津若松地方森林組合)
松野 洋子	(福島県森林組合連合会)
永年勤続技術班員 (勤続5年以上)	
鈴木 信二	(福島県北森林組合)
吉田 勝美	(福島県北森林組合)
佐藤 忠昭	(会津若松地方森林組合)
栗城 正二	(会津若松地方森林組合)
久保田 昭一	(会津若松地方森林組合)
鈴木 豊作	(いわき市森林組合)
阿部 哲	(いわき市森林組合)
佐藤 慈良	(相馬地方森林組合)
伏見 勝行	(相馬地方森林組合)
加藤 良正	(相馬地方森林組合)

## 表紙の写真



### 「下刈り作業」

第8回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した佐藤源策さん(郡山市)の作品。

## はなしのひろば

### 外来生物

今回は、植物の話です。

日頃、よく利用するバス停の近くに広い法面がある。梅雨の時期、白や黄色の花に埋め尽くされ、一面お花畑となる。また、少し時期が過ぎると今度は、白い百合の花に覆われる。団地の中に現れたお花畑に目を奪われる季節である。花の正体は、オオキンケイギク、フタナ、フランスギク、タカサゴユリなどの外来の植物である。

日本には古くから外来の植物が数多く導入されている。その有用性により持ち込まれた種類も多いが、意図せずに入ってきた種類もある。近年は、園芸用に導入されて野生化する植物が増えているという。国では、外来生物の野生化による自然生態系等に与える影響の重大さのため、法律により持ち込みや栽培等を制限するようになった。

植物にとってみれば、手段はどうあれ生息場所を拡大できることは、新天地に種の繁栄につながるチャンスを得たことに他ならない。これは、大昔からあったことであり、「史前帰化生物」という言葉もある。

そのような中で、食文化にまで定着した例として、トチ、レンゲ(レンゲも外来)と並んで名高い「アカシアの蜂蜜」がある。これはニセアカシアの花の蜜である。アメリカ原産の落葉高木ハリエンジュのことで、街路樹や砂防用として導入されたものである。その花を天ぷらで食べることもある。以前、長野県を訪れたとき、千曲川の河畔が一面ニセアカシアの白い花に埋め尽くされ、とても違和感を覚えた。砂防用として、また、蜜源として山間地域にも植栽されたことから、現在では、至る所でニセアカシアの花を見ることができ、このことは、このような環境で育った子供たちの川原の原風景はニセアカシア林であり、私のヤナギ林やヨシ原とは異なる。

千曲川のニセアカシアは、伐採されたという話を聞いた。洪水対策なのか景観上の話なのか、また、生態系上の理由なのかは分からないが、食文化に定着する一方で、駆除されるという外来植物の持つ多面性を見ることができ、このことは、とりもなおさず、その地域の人たちの価値観の相違に他ならない。人間の都合によって、残されたり駆除されたりするのである。

外来植物問題は、改めて私たちに地域植生に対する価値観を見直す問題提起であると思っっている。しかしながら、花の時期が終わると意識の片隅に追いやられ、翌年まで忘れ去られるのも事実である。

安達 薫風

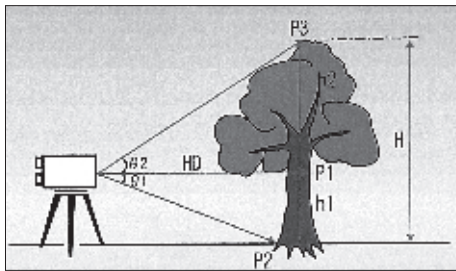
#### 編集

#### 発行人

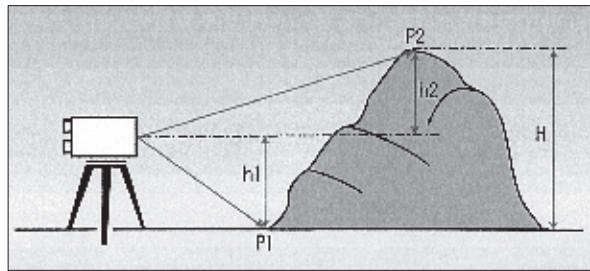
福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
福島県農林業公社  
森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
相馬 雅俊  
陽光社印刷株式会社  
(定価 六三円)

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

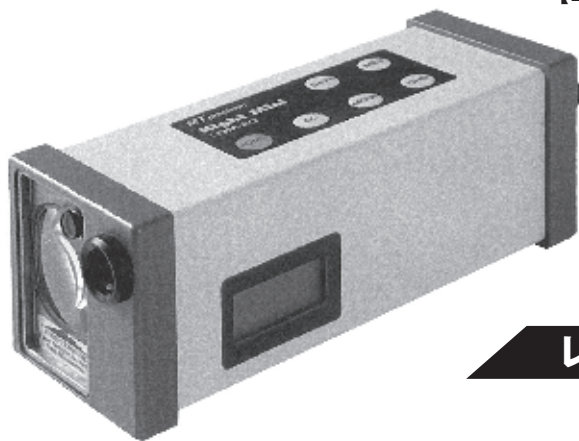


2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5 mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650 g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

## レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

### 株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL 024-523-1706 FAX 024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



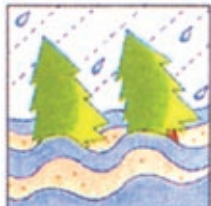
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



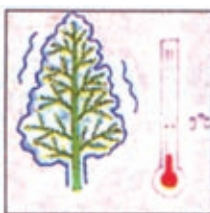
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課  
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

**蜂さされ防止**

ハチノックL (巣退治)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る  
住化グリーンの林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

ちゅらシート (茶・白)  
与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号  
TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071

東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室  
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**  
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T** 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**  
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを追求したハンドルと思いのアクセルワークが可能なたりガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**

・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380(税込)  
笹刈刃 ¥78,330(税込)

## ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

# (有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1